

2024 年度 緑の国際ボランティア研修(カンボジア)

カンボジアでは、2006年時点で国土の60%を覆っていた森林面積が、開発行為などにより2016年には45%に減少し、自然資源の枯渇や気候変動によって高まる自然災害のリスクに、人々の生活が脅かされています。国際緑化活動の重要性や「緑の募金」が果たす役割について研修員が理解を深めることを目指し、カンボジアで2025年2月13日(現地着)から2月21日(現地発)に至る9日間、「緑の国際ボランティア研修」を実施しました。本研修では、NGOが取り組む植林活動地の視察、植林活動体験、地域住民への聞き取り調査や意見交換を伴う農山村調査等を実施しました。そして現地ですんだことを総括し、研修成果発表会では「Sustainable Forest Resource Management in Cambodia」に向けた具体的な検証結果やアクションプラン等の発表が行われました。具体的には、「① Sustainable Utilization of the Forest」、「② Forest Resource Conservation」、「③ Promoting Forest Conservation and Utilization」のテーマ毎に3つのグループに分かれ、設定した仮説に対する検証を進めていきました。検証の過程で各グループは地域住民への聞き取り調査や意見交換会を実施しました。その中で研修員はカンボジアの森林管理の現状やその背景を学び、人と自然との共生の在り方や持続可能な開発についての考察を進めました。最終日には研修成果発表会が開催され、研修の総括と仮説の検証結果とともに、持続可能な森林管理に向けた具体的なアクションプラン等を発表しました。

	日時	主な活動	宿泊地
1	2/13 (木)	・成田空港より出発(13:20) ・プノンベン国際空港着(23:20)	プノンベン
2	2/14 (金)	・Khmer Green Charcoal 訪問 ・プノンベン国立博物館訪問 ・カンボジア王立農業大学訪問、グループディスカッション等	プノンベン
3	2/15 (土)	・トボンクム州へ移動 ・「緑の募金」植林活動地(小学校)視察、地域住民と協働での植林地管理活動(補植等)、小学生への環境教育活動支援等	トボンクムン
4	2/16 (日)	・シュムリアップ州に移動 ・グループディスカッション、コミュニティフォレスト訪問等	シュムリアップ
5	2/17 (月)	・「緑の募金」植林活動地(中学校)視察、地域住民と協働での植林地管理活動(活着率調査等)	シュムリアップ
6	2/18 (火)	・森林消失が進む農山村域における農村調査(炭素貯留量測定調査、森林資源調査、緑化推進に向けた住民との意見交換等) ・生物多様性保護センター訪問等	シュムリアップ
7	2/19 (水)	・プノンベンに移動 ・グループディスカッション、研修成果発表会準備	プノンベン
8	2/20 (木)	・カンボジア王立農業大学にて研修成果発表会、研修の振り返り、修了式等 ・プノンベン国際空港にて現地解散 ・プノンベン国際空港発(24:30)	機内泊
9	2/21 (金)	・成田空港着(11:20)	

* 旅行業法により現地集合・現地解散ですが、随行スタッフが研修参加者の渡航便に同行しました。



成田空港にて集合(2月13日)



プノンベン国際空港に到着(2月13日)



Khmer Green Charcoal 訪問(2月14日)



プノンベン国立博物館訪問(2月14日)



カンボジア王立農業大学訪問(プノンベン)(2月14日)



バンブーブリッジ訪問(トボンクムン州)(2月16日)



小学生への環境教育活動支援(トボンクムン州)(2月15日)



コミュニティフォレスト訪問(シュムリアップ州)(2月16日)



植林地管理活動(補植)(トボンクムン州)(2月15日)



森林資源調査(シュムリアップ州)(2月16日)



植林地管理活動(補植)(トボンクムン州)(2月15日)



中学生への環境教育活動支援(シュムリアップ州)(2月17日)



植林地管理活動(補植) (シェムリアップ州)(2月17日)



農村調査(シェムリアップ州)(2月18日)



トレンサップ湖視察(シェムリアップ州)(2月17日)



グループディスカッション(発表準備)(プノンペン)(2月19日)



生物多様性保護センター訪問(シェムリアップ州)(2月18日)



研修成果発表会(プノンペン)(2月20日)



農村調査(シェムリアップ州)(2月18日)



修了書授与式(プノンペン)(2月20日)